



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月15日

上場会社名 新日本電工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5563 URL <http://www.nippondenko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白須 達朗
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 上 直 TEL 03-6860-6800
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	14,977	△19.7	1,833	—	1,420	—	392	—
2019年12月期第1四半期	18,661	1.8	△414	—	△570	—	△638	—

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 735百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 △801百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	2.68	—
2019年12月期第1四半期	△4.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	88,311	55,002	62.2
2019年12月期	85,224	54,268	63.6

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 54,944百万円 2019年12月期 54,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2020年12月期の配当予想に関しましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	未定	—	未定	—	未定	—	未定	—	未定

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	146,568,067株	2019年12月期	146,568,067株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	1,399株	2019年12月期	1,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	146,566,720株	2019年12月期1Q	146,431,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想につきましては、現時点で得られた情報に基づき算定しており、多分に不確定要素を含んでおりますので、実際の業績は予想数値と大きく異なる場合があります。上記の予想に関する事項につきましては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

昨年末に発生が確認され、3月11日にWHOがパンデミック宣言を発した新型コロナウイルスのさらなる感染拡大により、国内外において経済活動の大幅な低下や需要と消費の極度の低迷など、世界でかつて経験したことのない影響が発生しつつあります。

こうした中で、当第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日)の当社業績は、売上高は前年同期に比べ19.7%減少し14,977百万円(前年同期実績18,661百万円)となりました。営業損益は1,833百万円の利益(同414百万円の損失)、経常損益は1,420百万円の利益(同570百万円の損失)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は392百万円の利益(同638百万円の損失)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(合金鉄事業)

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、各地域で経済の著しい混乱が生じました。当初中国から始まった経済活動の減退は欧州に飛び火し、米国やASEANでも大幅な景気減速に見舞われ、さらにアフリカ諸国でも感染拡大の懸念が強まりました。

こうした状況の中、日本でも新型コロナウイルスの感染拡大が全国に波及したため、製造業・非製造業ともに経済活動が大幅に低迷し、急速に減速感を強めました。

この間の世界粗鋼生産量は、2020年1-3月で4億42百万トンと前年同期比で1.2%の減少となり、また国内粗鋼生産量は2,412万トンと前年同期比で3.4%の減少となりました。

以上の結果、合金鉄事業の当期業績は、前年同期と比較して販売数量の減少、製品市況低迷などにより、売上高は前年同期を下回った一方で、原材料市況下落と前期末に実施した棚卸資産評価による帳簿価額切下げにより原材料費は大きく低減し、営業利益は前年同期を上回りました。

先行きについても補正予算などの各種政策による景気下支え効果は一定程度期待されるものの、世界的な感染拡大による個人消費の落ち込みやインバウンド需要の減少、設備投資意欲の減退、サプライチェーンの混乱による生産への影響、世界経済の減速による輸出の減少など、今後の動向に十分注視する必要があります。

こうしたコロナ禍影響により未曾有の極めて厳しい事業環境ではありますが、需要の減少に柔軟に対応した生産体制によってお客様に対する安定的な供給に向けて全力で取り組んでまいります。

(機能材料事業)

機能材料事業につきましては、フェロボロンの販売は、主力のアモルファス向けが減少し前年同期を下回りました。

酸化ジルコニウムの販売は、電子部品向け需要が回復し前年同期をやや上回りました。

電池材料の販売は、ハイブリッド車向け水素吸蔵合金が好調を維持し、住友金属鉱山株式会社からの受託事業が軌道に乗ったものの、一部製品の前倒し販売による一時的な増加が無くなった影響で、前年同期を下回りました。

以上の結果、機能材料事業の当期業績は、売上高、営業利益とも前年同期を下回りました。

(環境事業)

環境システム事業につきましては、モバイル型のほう素吸着塔(B-クルパック)の販売は堅調に推移しましたが、NDミニクロバック及びエネファーム用のイオン交換樹脂の販売が減少したため、売上高は前年同期比で減少しました。一方、営業利益は、工場原価及び管理費などの減少により前年同期比で増加しました。

中央電気工業の焼却灰溶融固化石業につきましては、昨年同様溶融炉の修繕工事を行いました。工期短縮により処理量の減少を抑えたことで、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加しました。

以上の結果、環境事業の当期業績は、売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。

(電力事業)

電力事業につきましては、FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)を利用した売電事業として昨年2月より2ヶ所の水力発電所が稼動する中、両発電所とも順調な発電を続けたことにより、電力事業の当期業績は売上高、営業利益とも前年同期を上回りました。

(その他)

その他につきましては、売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、2020年2月10日に発表しました「2019年12月期 決算短信」の内容を修正いたしました。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

感染症が国内または世界的に流行した場合には、当社グループの事業活動が制約を受け、業績に影響を与える可能性があります。なお、現時点では、新型コロナウイルスの感染拡大の終息が見通せないことに加え、終息後の経済・景気動向の想定も困難な中、製造業における休業・操業停止など経済活動の停滞による需要の減少により電力事業以外の3事業（合金鉄事業・機能材料事業・環境事業）についてはその影響を受ける可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,599	8,463
受取手形及び売掛金	16,800	17,588
商品及び製品	12,086	12,946
仕掛品	349	289
原材料及び貯蔵品	11,878	12,476
その他	952	953
貸倒引当金	△22	△13
流動資産合計	49,645	52,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,646	4,636
機械装置及び運搬具(純額)	6,672	6,949
土地	5,298	5,298
リース資産(純額)	3,857	3,811
建設仮勘定	641	1,100
その他(純額)	316	327
有形固定資産合計	21,433	22,124
無形固定資産	148	146
投資その他の資産		
投資有価証券	11,313	10,512
繰延税金資産	316	424
長期貸付金	1,863	1,851
その他	503	547
投資その他の資産合計	13,997	13,336
固定資産合計	35,579	35,606
資産合計	85,224	88,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,792	6,035
短期借入金	9,000	4,000
1年内返済予定の長期借入金	897	1,458
リース債務	131	131
未払法人税等	93	195
設備関係支払手形	411	171
賞与引当金	153	440
事業整理損失引当金	314	310
その他	4,283	4,139
流動負債合計	21,077	16,883
固定負債		
長期借入金	4,090	10,631
リース債務	4,585	4,576
繰延税金負債	371	344
退職給付に係る負債	293	376
その他	538	495
固定負債合計	9,878	16,425
負債合計	30,956	33,308
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,042	11,042
資本剰余金	21,397	21,397
利益剰余金	22,170	22,562
自己株式	△0	△0
株主資本合計	54,609	55,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	282	245
繰延ヘッジ損益	△75	10
為替換算調整勘定	△746	△450
退職給付に係る調整累計額	136	137
その他の包括利益累計額合計	△402	△57
非支配株主持分	61	57
純資産合計	54,268	55,002
負債純資産合計	85,224	88,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	18,661	14,977
売上原価	17,555	11,801
売上総利益	1,106	3,176
販売費及び一般管理費	1,520	1,342
営業利益又は営業損失(△)	△414	1,833
営業外収益		
受取利息	0	11
受取配当金	0	0
物品売却益	—	70
その他	126	16
営業外収益合計	127	98
営業外費用		
支払利息	110	124
持分法による投資損失	48	354
支払手数料	33	15
その他	89	17
営業外費用合計	282	511
経常利益又は経常損失(△)	△570	1,420
特別利益		
投資有価証券売却益	2	27
関係会社株式売却益	53	—
特別利益合計	55	27
特別損失		
固定資産除却損	144	183
ゴルフ会員権評価損	4	—
減損損失	—	199
投資有価証券評価損	—	531
特別損失合計	149	914
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△663	533
法人税、住民税及び事業税	42	159
法人税等調整額	△68	△18
法人税等合計	△26	140
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△637	392
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△638	392

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△637	392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	△39
繰延ヘッジ損益	38	95
退職給付に係る調整額	3	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△253	286
その他の包括利益合計	△163	342
四半期包括利益	△801	735
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△803	737
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,002	4,014	1,049	125	17,192	1,469	18,661	—	18,661
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20	39	8	—	68	63	132	△132	—
計	12,023	4,053	1,057	125	17,260	1,533	18,793	△132	18,661
セグメント利益 又は損失 (△)	△1,456	1,034	△14	0	△436	22	△414	—	△414

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	合金鉄 事業	機能材 料事業	環境 事業	電力 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,546	2,729	1,155	286	13,717	1,259	14,977	—	14,977
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18	38	7	—	63	48	112	△112	—
計	9,564	2,768	1,162	286	13,781	1,308	15,090	△112	14,977
セグメント利益 又は損失 (△)	1,233	455	65	102	1,858	△24	1,833	—	1,833

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に化学品等販売事業、その他子会社事業となります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「合金鉄事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては199百万円であります。